

## 長岡高校体育祭 ～3年生が次の世代への架け橋となる～

6月7日(水)に開催予定でしたが、雨天のため6月8日(木)に順延となりました。6月6日(火)は3限から予行練習。マスコットはその日の朝のうちに、雨天でしたが係生徒の努力で設置されました。

6月8日(木)は朝から晴れです。グラウンドコンディションは、前日の夕方、当日の朝と係生徒と先生方によりスポンジで水気をとってならしてきたので良好でした。

すべての準備が整いさあ体育祭実施です!!!

開催にあたっては、昨年の流れを踏襲し「新型コロナ感染対策」を最優先しました。「感染のリスクを減らし、なおかつ盛り上がる体育祭にするためにはどうしたら良いか?」「いままで行っていた体育祭の競技もそれに近いようなものはできないだろうか?」生徒会執行部は頭を悩ませながら準備を進めてきました。1日順延になったことで団長を中心としたリーダーや衣装・マスコットの係等準備する側も少し余裕をもって体育祭を迎えた。今年度は保護者エリアもグラウンドに準備されて、多くのギャラリーに見守られながらの開催となった。

### ◆入場行進～開会式

8:50、入場行進スタート。プラカード、校旗、横断幕を先頭に各軍のメンバーが続く。昨年は「コロナ対策」の一環で、団長や応援リーダーを中心とした「少数精鋭」での行進でしたが、今年は全員参加。各軍のモチーフに合わせた個性的な振り付けを交えて行進した。



開会式では、「〇〇きんにくん」に扮した聖火ランナーのマグマ水沢さんが筋肉自慢の生徒4人を従えて登場!!

「マグマ聖火台」が披露されました。

聖火台に勢いよく点灯し『ヤー』と雄たけびを上げ、

『無事聖火台に点灯しました! パワーー』と一言。

見事大役を果たした。



聖火の煙がたなびく中、鈴木校長から「今年の体育祭は感染症対策もあり、渡河レース、俵運びは中止となり新たな形の競技が多くなりました。新型コロナ感染症も徐々に落ち着きを見せてきており、保護者エリアも設置しました。徐々に今までの体育祭に近づいている。」との挨拶があった。

また、和同会会長挨拶では、酒井会長が「 昨年度よりも規模を広げ、例年にない競技も行われます。勝負

に本気になるのはもちろんですが実行委員の皆さんが計画準備した競技を楽しみましょう。そして、マスコット係が作り上げたパネルは本当に迫力があります。応援リーダーの皆さんが着ている衣装は衣装係の皆さんが丁寧に一生懸命に作り上げたことがわかります。応援リーダーのみなさんは朝早くからご飯を食べる時間を惜しんで、応援練習をし、軍の全体に教えている姿が目に焼き付いています。今日は皆さんの努力の集大成です。また、3年生にとっては最後の体育祭です。今までの努力を信じ全力を尽くしていきましょう。」と語った。

最後に各軍団長による選手宣誓が行われ、開会式は終了。  
いよいよ熱戦の火ぶたが切られた。



#### ◆競技 ～午前部～

9:30から競技開始予定の新種目の「短距離走(60m)」だが、時間はすでに9:40。整然を集合しフライングもなく、スムーズな競技運営だったので、2種目目の「台風の目」が終わる頃には時間の遅れを解消していた。「台風の目」は本日最初の団体種目。団体種目は得点が高いので、各軍も力を入れている。女子から男子へのリレー形式で行われ、回転方向の一番外側の生徒は遠心力との闘いとなり、転倒しながらも必死のリレーが行われた。その後「300m走」「女子1200m走」「男子1500m走」という体育祭にしては長めの短距離種目と長距離種目であった。競技性の高い種目であったが、最後尾の生徒も懸命に走っている姿が印象的であった。

今年度初開催の「借りモノ競走」ボード担当の生徒2名が時間差でボードまで走り、そのボードに書かれている内容の借りモノをする。その後2名の生徒が先頭と最後尾になり、借り物ボードを掲げながら電車ごっこでゴールまでいくという競技。順位判定の競技後には判定員が内容に相違がないかを判定し減点していくというルールだった。さまざまな電車ごっこ(名前がしりとりになっている3名、名前に色が入っている生徒3名、学年主任の先生方3名、管理職の先生方3名等々)ができて、体育祭盛り上げていた。

エキシビションの「部活動対抗リレー」が午前中最後の種目。各部活動が趣向を凝らして盛り上げていた。

午前部が終了

中間発表では、黒軍347点、青軍589点、赤軍467点、白軍467点。他を大きく引き離れた青軍に他の軍がどれだけ迫れるのか、午後の部での奮起が期待された。

#### ◆競技 ～午後部～

12:50、体育祭の華「応援合戦」で午後の部がスタートした。

昨年は、ダンスリーダー+3年生のみが参加する形式でしたが、今年度はフルバージョンで行われ、完成度も高く、ハイレベルの争いだったので、審査に非常に悩んだ。



男女リレー形式の「鉄人レース」は、昨年の内容からリニューアル。袋ジャンプの男女リレーの後、男女ペアによる俵運び、そして禁断の「ぐるぐるバット」は昨年からの継続だがフラフラしないように途中から逆回転する生徒もいた。その後ハードル連続ジャンプの後全力80mとまさに鉄人レースであった。用具に触れる機会が多いので指手消毒用アルコールが準備されていた。



午後3種目目の「女子棒引き」では、中央に置かれた棒を取り合うシンプルなルール。だが、密集と危険を避けるため一つの棒に関われるのは各軍3名までということで、競技終盤には棒を引きあっている6名を距離を保ちながら応援しているという微笑ましい光景が見られた。

4種目目の「綱引き」は「長高体育祭伝説」のひとつとして「野球場側になるかテニスコート側になるかで有利不利があるようだ」ということ。過去に課題研究地学班のテーマにもなった競技だが、昨年は全12試合中、野球場側のチームが8勝、テニスコート側のチームが4勝という結果で野球場側が有利だった。今年は…なんと全12試合中、野球場側のチームが0勝、テニスコート側のチームが12勝！つまり全勝だった。決勝戦での最終戦はじゃんけんによる場所取りで白が勝ち、その瞬間勝ちを確信した選手が「よっしゃー」とガッツポーズ。実際の試合では序盤はそれほど大差はなかったが、後半テニスコート側のチームが引き寄せ優勝した。1位白軍、2位赤軍、3位青軍、4位黒軍となりこの団体種目の大きな要因になった。



体育祭も大詰めを迎え、競技も軍対抗リレーを残すのみとなった。最初は、女子レースが先行し、白軍2チーム出場し、150mずつ8人でのリレーであった。抜きつ抜かれつのレースが展開されて、白軍3、5位、赤軍2、8位、青軍1、7位、黒軍4、6位と白軍が安定した力を出して優勝により近づいた。男子レースは各軍2チーム出場し、300mずつ8人でのリレーであった。男子は女子よりもさらにスピード感のあるレースで、力が拮抗しているのか等間隔でレースが動かないようであった。白軍1、8位、赤軍2、6位、青軍3、7位、黒軍4、5位と総合順位で拮抗していた白軍、赤軍の優勝争いは混とんとしていた。

#### ◆閉会式～解団式～伝統の継承へ

予定より10分早い、15:20頃閉会式開始。最初に「成績発表・表彰」が行われた。競技の部はなんと1位の赤軍と白軍が同点。3位青軍、4位黒軍。応援の部は1位赤軍、2位白軍、3位黒軍、4位青軍、1位の赤軍と2位の白軍とはわずか5点、3位の黒軍と4位の青軍の差はわずか1点というそれぞれ僅差だった。競技の部で同点1位だった赤軍と白軍は応援の部での得点差での総合結果となり、最終結果は1位赤軍、2位白軍、3位青軍、4位黒軍であった。



学校長挨拶では、3年ぶりの公開ということで来場観戦していた保護者に対して感謝の意と「今まで通りの体育祭とはいかなかったが生徒が知恵を絞って伝統ある長岡高校の体育祭を作り上げてくれた。」と述べた。生徒に対しては「すべてが素晴らしい体育祭であった」という称賛の言葉を頂いた。高さを示すことができたようだ。また、体育祭実行委員長は「体育祭が成功裏に終わることができたのは、先生方も含めたすべての皆さんのおかげである」と謝辞を述べた。

閉会式終了後、各軍に分かれて解団式が行われ、団長やリーダーから体育祭を終えての感想や団員へのメッセージや謝辞が述べられた。

どの軍でも「本当に楽しかった」という話が多く、逆境の中でも体育祭実施という大きな目標に向けて皆が努力したことが本当に報われたのだなと感じた。

また、校長先生から開会式で話のあった「伝統の次の世代への継承」も3年生から2年生・1年生に対して十分に行うことができたようである。

(3年生学年便りより抜粋)

黒軍団長高野さんの談話  
1・2年生は初めて3年生にとつては最後の体育祭なのでよい思い出が残るよう頑張った。総合優勝という最高の形で終わることができた。みんなの協力ののおかげだ。みんなありがとうと伝えたい。